



美馬ロータリークラブ週報

2月10日 火曜日

Vol.424

例会出席者	21名（会員数29名）	出席率72.4%
メーキャップ	ありません	
ゲスト	ありません	

■会長挨拶 皆様、こんばんは！立春が過ぎたとはいえ、毎日寒い日が続いております。今日は、森さんが「ロータリーについて」卓話をしていただけることになっております。森さんよろしくお願いたします。色々と「格言」「座右の銘」がありますが、こういう「座右の銘」があります。《日々新たに、日々に新たなり》この言葉は、昭和56年に発足した第二次臨時行政調査会（いわゆる「土光臨調」の土光敏夫会長）元経団連会長が、座右の銘にしていた言葉であります。この言葉は、「今日という日は、初めて訪れた日で、皆に平等にやってくるそんな大事な一日だから、「有意義」に過ごさなければならない。そのためには、今日の行いは昨日より新しく良くなり、明日の行いは今日よりも新しく良くなるように、修養に心掛けるべきである」という意味だそうです。

- 1, どんなに年齢を増しても決して現状に満足することなく、変化を求めて邁進すること。
- 2, 過去にとらわれず、新しい日々、新しい時間にチャレンジすること。

このように捉えて、私もこの「座右の銘」を肝に銘じ、美馬ロータリークラブの会員の皆様の足元を少しでも、明るく照らしながら、美馬ロータリークラブがさらなる発展を遂げていくように取り組んでいきたいと思っております。

■幹事報告

- ◇到着書類 2/14(土)に徳島第1・2分區合同のIMが開催されます。場所は阿南文化会館夢ホールと言うところになっております。午前9-10時の間に受付となっております。もう一度、案内書を回しますので出席者は見ておいてください。
- ◇到着週報 鴨島RC/脇町RC
- ◇連絡事項 女性会員の皆さん、バレンタインチョコをありがとうございました。いくつになっても、妻帯者になってもうれしいものです。ありがとうございました。

■委員会報告 ありません。

■卓話 森廣一さん(ロータリーにおける二つの奉仕理念・決議23-34を考える)

決議23-34は何だろうということですが、国際ロータリーの中の規定審議会というのがあります。

私たちの国際ロータリーが3年に一度、決議を見直す中でその中でももっとも決議23-34は、重要なものになっていまして、それを見ながらロータリーの二つの奉仕理念について考えてみようと思います。なぜ重要なのか、それはロータリーの奉仕理念を確定した唯一のドキュメントだからです。

ロータリーの奉仕の理念、もしくは理想とも呼ばれ、その考え方が数あるロータリーの文献の中でも載っているのが、この決議23-34のみとなります。これを理解すれば、ロータリーの奉仕の理念を理解することができると言えます。

ロータリーを精神面から説いた人と、ともかく実践をすれば良いという人との論争が巻き起こった時に、それを収束するために定めた決議でもあります。

親睦と互惠取引の概念から、次の一步「社会奉仕」へ歩みを進めた、ポールハリスとドナルド・カーターの話を始め、パワーポイントをつかって、森先生にロータリーの社会奉仕理念と、脇町ロータリークラブがかつて行った「脇町図書館」を作る意義を唱え、図書館創設に至った経緯も交えてお話戴きました。1週間かけて、貴重なドキュメントを作ってくださいました森先生、本当にありがとうございました。

■ニコニコ

➤ ありません

次回例会 プログラム	2015年2月17日(火) 18:30からレストラン西岡 外部卓話／美馬市社会福祉協議会 加藤様
---------------	---

欠席 青木博美・小田教仁・澤田篤也・田中義美・田野寿一・浪越繁男
林秀樹・藤田茂樹

☆ 欠席の会員はメイクアップをお願いします。次回例会に欠席の会員は出席委員長までご連絡をお願いします。